

体となった方策が模索されている。一方、少子高齢化や情報化に伴う大きな社会変化を迎える今、土地とその上で生活を育む人からなる国土の未来のあり方と、気候変動への適応とは一体的に議論されるべきである。日本学術会議では、気候変動と大規模風水害への適応策についての提言・見解を発信してきた。そこで浮き彫りにされた課題の解決と社会実装に向けて、第一歩、第二歩を踏み出すための展開について、学と行政、市民に向けた発信を行う。

・次第：<https://krs.bz/scj/c?c=521&m=66866&v=aa9cc560>

・参加費：無料

・要・事前申し込み：以下の URL からお申し込みください。

<https://krs.bz/scj/c?c=522&m=66866&v=9f717333>

・問い合わせ先：

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当 電話：03-3403-6295

■-----

2. 【採用情報】任期付職員（国際業務担当）課長補佐級の募集を開始します。

-----■

日本学術会議事務局では、国際会議又は国際交流事業の運営等の実務経験を有し、かつ語学力に優れた方を募集いたします。

1 採用予定官職

内閣府事務官（日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）付
参事官補佐（国際第二担当））（課長補佐級）※予定

2 募集人員

1名

3 募集対象

以下の全ての条件に該当する者

(1) 大学卒業程度の学歴又はこれと同等程度以上の学力を有すると認められる者

- (2) 自然科学、人文・社会科学の特定分野における専門的知識を有する者
 - (3) 十分な英語力を有する者（目安として TOEIC L&R スコア 785 点以上若しくは英語検定準 1 級以上を有する者又はそれと同等の英語力を有する者）
 - (4) 企業、非営利機関等において 20 年程度以上実務に従事し、国際会議、国際交流事業の運営等国際関係業務の経験と実績を有する者
 - (5) 任期の始期から終期（令和 8 年 5 月中旬以降（時期については応相談）から令和 8 年 9 月 30 日まで（予定））にわたり、継続して勤務が可能な者
- ※ 内閣府日本学術会議事務局は、令和 8 年 10 月 1 日より特殊法人日本学術会議となります。勤務成績が良好な場合、令和 8 年 10 月 1 日以降も法人職員（任期付職員）として、引き続き採用されることもあります。

4 雇用期間

令和 8 年 5 月中旬以降（時期については応相談）から令和 8 年 9 月 30 日まで（予定）

（職務の状況によっては任期更新の場合あり。）

※ 内閣府日本学術会議事務局は、令和 8 年 10 月 1 日より特殊法人日本学術会議となります。勤務実績が良好な場合、令和 8 年 10 月 1 日以降も法人職員（任期付職員）として、引き続き採用されることもあります。

5 採用形態

常勤の国家公務員として採用

6 応募書類提出締切

令和 8 年 5 月 21 日（木）（必着）

詳細は以下を確認ください。

<https://krs.bz/scj/c?c=523&m=66866&v=3afae33d>

3. 【お知らせ】特設ウェブサイト 日本学術会議の法人化について

令和 7 年 6 月 11 日に日本学術会議法が成立し、日本学術会議は、令和 8 年 10 月 1 日に法人へ移行することとなりました。

こちらのページでは、法人化の準備状況等を掲載しております。

<https://krs.bz/scj/c?c=524&m=66866&v=f4aa1f95>

■■-----

4. 【国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）】

「STI for SDGs」アワード募集のお知らせ ～研究成果を未来に生かす取り組み募集中！ ～

-----□□

JST 社会技術研究開発センターでは、科学技術・イノベーションを用いて社会課題を解決する取り組みを対象とした「STI for SDGs」アワードの2026年度の募集を行っています。

このアワードでは、活用している技術の種類やレベルは問わず、独自性や展開性に優れた取り組みを表彰し、それらの推進と他での活用を進めることでSDGs達成への貢献を目指しています。創設以来50件の取り組みを表彰してまいりましたが、受賞者の皆さまからは「問い合わせや講演依頼が増えた」、「周囲からの活動への信頼が高まった」、「新しい連携先が得られた」などのお声もいただいています。

2030年に向けた折り返し時期を過ぎた現在でも、SDGsの進捗は芳しいものではなく、解決すべき社会課題は多数存在します。その解決のための原動力として、科学技術には大きな期待が寄せられています。

皆様の研究成果を活用した取り組みを、ぜひ当アワードにご応募ください。

企業や市民の方など、多様な方々と連携した活動も歓迎します。

幅広い分野からの、多数のご応募をお待ちしています。

< 「STI for SDGs」アワード 公募詳細について >

●公募締切：2026年6月1日（月）正午

●公募詳細：<https://krs.bz/scj/c?c=525&m=66866&v=51218f9b>

※これまでの受賞取り組み内容も、こちらでご覧いただけます。

●後援： 文部科学省

< 本件の問い合わせ先 >

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

社会技術研究開発センター（RISTEX）

「STI for SDGs」アワード事務局

E-mail : [sdgs-award\(a\)jst.go.jp](mailto:sdgs-award(a)jst.go.jp)

※(a)を@にしてお送りください。

日本学術会議 YouTube チャンネル

<https://krs.bz/scj/c?c=526&m=66866&v=64cc39c8>

日本学術会議公式 X

<https://krs.bz/scj/c?c=527&m=66866&v=c147a9c6>

=====

日本学術会議ニュース・メールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のニュース・メールは、日本学術会議ウェブサイトに掲載しております。

<https://krs.bz/scj/c?c=528&m=66866&v=231cc6d9>

【本メールに関する問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関する問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <https://krs.bz/scj/c?c=529&m=66866&v=869756d7>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34